

株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **基準日** 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日
- **定時株主総会** 毎年6月
- **株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **同連絡先** 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
- **公告方法** 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- **単元株式数** 100株
- **上場証券取引所** 東京証券取引所 プライム市場
(証券コード4611)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

投資家情報サイトをリニューアルしました



本年5月より、株主・投資家の皆様にとって有益な情報を充実させ、よりタイムリーかつ公平・公正に情報開示することを目的として、当社ウェブサイトの投資家情報サイトをリニューアルいたしました。

主なリニューアル内容

- ・最新の決算資料、株価情報(前日終値)、直近のIRイベントをトップに掲載
- ・経営戦略やコーポレート・ガバナンスに関する情報の充実
- ・個人投資家の皆様を対象としたページの新設
- ・決算情報など最新の開示情報をお届けするIRメール配信サービスの導入

今後も当社は株主・投資家の皆様に適時・適切な企業情報をお伝えできるウェブサイトを目指し、引き続き情報発信を行ってまいります。

投資家情報サイトはコチラ▶

<https://www.dnt.co.jp/ir/>



IRメール配信サービスのご登録はコチラ▶

<https://www.dnt.co.jp/ir/support/mail/>

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、当社のIR情報更新、決算・中期経営計画発表、株主の皆様へのご案内などをタイムリーに配信(無料)いたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第140期報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長

里 隆 幸

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

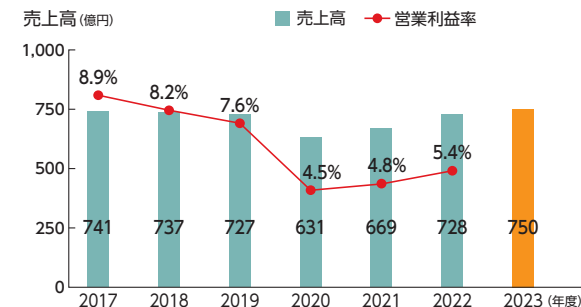
Q 2022年度の業績をお聞かせください。

A 2022年度(当期)の事業環境は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格やエネルギー価格の上昇のほか、世界的な金融引締めが海外景気の下振れや為替相場の急変をもたらすなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、売上高は各セグメントにおいて価格是正に努め、72,849百万円(前期比8.8%増)となりました。利益面では、照明機器事業の好調な推移により営業利益は3,946百万円(同24.0%増)、経常利益は4,316百万円(同24.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,458百万円(同70.2%増)となりました。

これにより、当期の期末配当金につきましては、前期と同額の1株当たり25円(配当性向20.5%)とさせていただきます。当期の業績や今後の事業展開など総合的に判断さ

● 創立100周年に向けた今中期経営計画の基本方針



中計目標
2023年度
売上高 750億円
営業利益 66億円
連結営業利益率 8.8%

創立100周年に向けて
持続的成長力
を持つ企業を目指す

成長基盤を活用した“変革の断行”

提供価値の強化	価格競争力の強化	販売体制の強化	労働生産性の向上	海外事業の強化
---------	----------	---------	----------	---------

前中計
2017~19今中計
2020~23創立100周年に
向けた成長戦略2029年7月
創立100周年

せていただいた水準であり、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 2023年度の業績見通しと今後の取り組みについて教えてください。

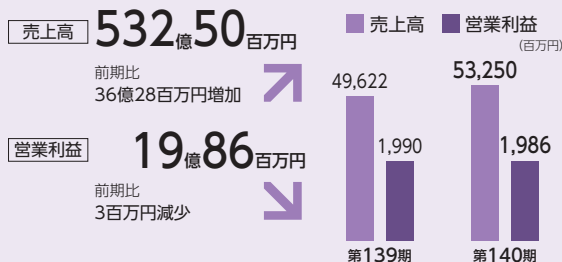
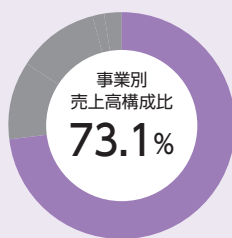
A 当社グループを取り巻く事業環境としては、主要市場である国内塗料市場において、構造物用塗料では引き続き堅調な需要環境が見込まれ、工業用分野では緩やかな需要回復を見込んでいます。一方で、エネルギーコストや原材料価格の動向は依然として不透明な状況であり、製造原価の低減施策に注力したうえで弾力的な価格戦略を講じていくことが重要課題となります。

2023年度の連結業績予想につきましては、売上高750億円、営業利益50億円、経常利益52億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円を見込んでいます。当初掲げた利益目標の達成は現時点で難しい状況にありますが、中期経営計画の最終年度として、これまで取り組んできた諸施策を中心に今期業績目標の達成に向け、グループ一丸となり取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

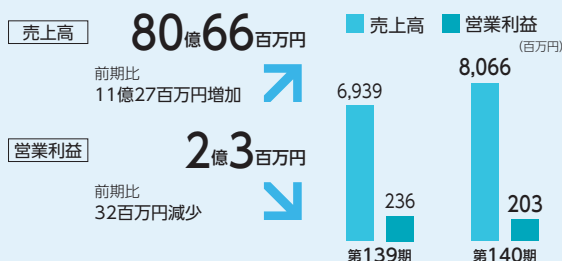
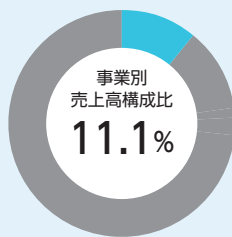
国内塗料事業



【事業概要】当社が高いシェアを誇る構造物用塗料を中心に、建築物用塗料や建材用塗料、ジェットインクなどを製造・販売しています。

- 一般用分野では構造物用塗料の市況が堅調に推移しましたが、工業用分野では建材用塗料を中心に需要が減少しました。
- 当セグメントの売上高は、原材料価格上昇に対する価格是正に努めたことで前期を上回りました。
- 利益面では、生産効率化及び原材料や塗料配合の見直し等のコスト低減策に努めたことで前期並みの水準となりました。

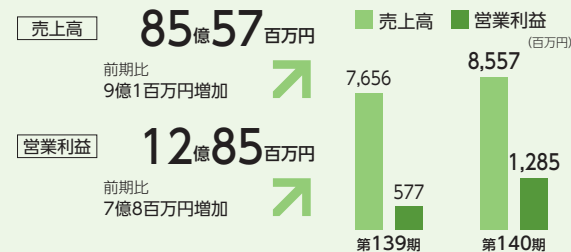
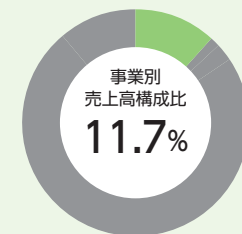
海外塗料事業



【事業概要】東南アジア、中国のほか、メキシコに拠点をもち、自動車部品用やプラスチック製品用の工業用塗料を中心に製造・販売しています。

- 東南アジア地域では、タイにおいて半導体等の部材不足の影響で自動車部品用塗料の需要が低調に推移した一方、シンガポール及びマレーシアにおいては建材用塗料や焼付用塗料の需要が増加しました。
- 北中米地域では、主要顧客の生産減少を受け自動車部品用塗料の需要が減少しました。
- 中国では、焼付用塗料の需要が増加した一方、ゼロコロナ政策による影響を受け自動車部品用塗料の需要が減少しました。
- 当セグメントの売上高は、円安による為替換算の影響により、前期を上回りました。
- 利益面では、原材料価格の上昇及びタイ、メキシコにおける需要減少に加え、中国事業における在庫評価損の計上により、前期を下回りました。

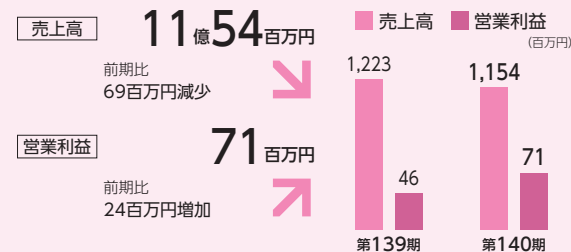
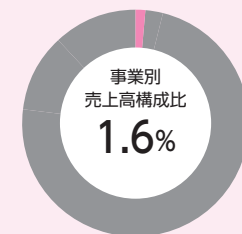
照明機器事業



【事業概要】建築化照明や店舗照明、住宅用照明などの照明機器を製造・販売しているほか、紫外線除菌装置なども展開しています。

- 業務用LED照明分野では、商業施設向けや建築向けの需要が回復したことに加え、原材料価格上昇に対する価格是正の実施により、当セグメントの売上高は前期を上回りました。
- 利益面では、売上増加のほか経費の抑制に努めたことで前期を上回りました。

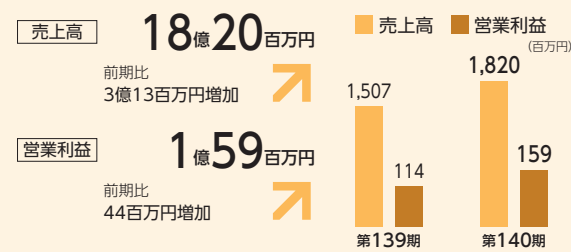
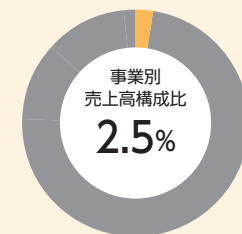
蛍光色材事業



【事業概要】蛍光塗料や反射塗料などを製造・販売しており、近年では河川の水位表示など、防災対策用として需要が拡大しています。

- 加工品分野では、安全対策用途の市場開拓や各種イベント類の再開により需要が回復しましたが、顔料分野では国内外の市況が低迷し、当セグメントの売上高は前期を下回りました。
- 利益面では、付加価値の高い加工品分野の売上増加や経費削減により、前期を上回りました。

その他事業(物流・塗装工事)



【事業概要】危険物・非危険物の保管・運送や、重防食塗装を軸とした施工及び施工管理業務を担っています。

- 物流事業は、取扱量の減少により運送売上が前期を下回りました。
- 塗装工事業は、主に首都圏における需要が回復し売上高は前期を上回りました。

ご案内 株主優待制度を変更いたしました。

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

この度、中長期的に保有いただける株主様の拡大を図ることを目的として、株主優待制度を変更いたしました。

詳細は当社ウェブサイトにも掲載しております。
<https://www.dnt.co.jp/ir/stock/dividend/>
 トップページ>投資家情報>株式情報>株主還元(配当・優待)



制度変更の内容

株主優待の贈呈対象として、新たに1年以上の継続保有を条件に加えるとともに、3年以上継続して当社株式を保有いただいた株主様への長期保有株主優遇制度を導入いたしました。

【変更前】

保有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 3,000円分

【変更後】

保有株式数	優待内容	
	継続保有1年以上3年未満	継続保有3年以上
100株以上1,000株未満	QUOカード 1,000円分	QUOカード 2,000円分
1,000株以上	QUOカード 3,000円分	QUOカード 5,000円分

《対象となる株主》

- 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を1年以上継続保有する株主

制度変更の適用時期

2023年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様への贈呈分より適用いたします。

本制度変更に伴い、毎年3月31日の権利確定日から1年未満に株主名簿に記載または記録された株主様におかれましては、株主優待の贈呈対象とはなりませんので、ご了承ください。

Topics 大阪市此花区のポスト塗装イベントに塗料を無償提供しました。

トピックス

大阪市此花区が、区内の郵便ポスト17カ所をSDGsカラー17色に塗装する取り組み「このはなカラフルSDGs～まちなかフォトスポット～」を実施し、当社が塗料を無償提供しました。

本取り組みは、此花区が開催地である2025年大阪・関西万博が目指す「SDGsの達成への貢献」につながる共創チャレンジ活動であり、通常赤色の郵便ポストをSDGsの17色に塗装することで、多くの人々の目を引き、SDGsに更なる興味を持つきっかけとなることを目的としています。

此花区は当社創業の地であり、2019年8月まで本社所在地であったご縁から、本取り組みのお話を此花区よりいただき、当社が塗料の無償提供をさせていただくことになりました。

地域社会への貢献を当社の重要な取り組みの一つと位置付け、今後も積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。



それぞれのポストの設置場所については、右記の二次元コードからご覧いただけます。

※此花区広報誌「広報このはな」2023年1月号ページに遷移します。2面および3面をご覧ください。

ユニバーサルシティ駅(JR線)近くなど、観光地の付近にもございますので、ぜひ探してみてください。



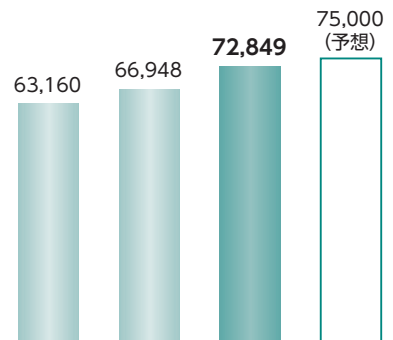
詳細は当社ウェブサイトに掲載されている投資家情報をご覧ください。
<https://www.dnt.co.jp/ir/financial/highlight/>
 トップページ>投資家情報>業績・財務情報>業績ハイライト



売上高 (百万円)

72,849百万円

前期比 8.8%増 ↑

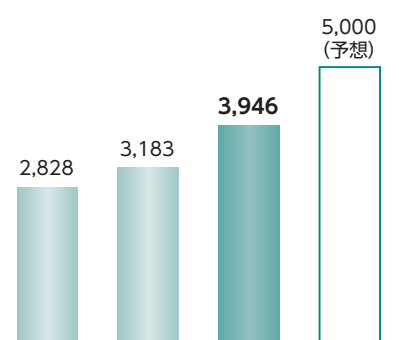


第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度) 第141期 (2023年度)

営業利益 (百万円)

3,946百万円

前期比 24.0%増 ↑

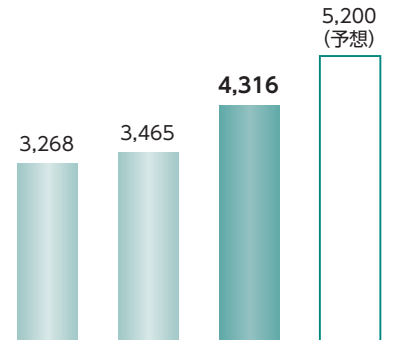


第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度) 第141期 (2023年度)

経常利益 (百万円)

4,316百万円

前期比 24.6%増 ↑

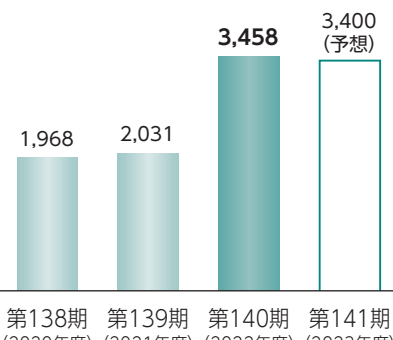


第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度) 第141期 (2023年度)

親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

3,458百万円

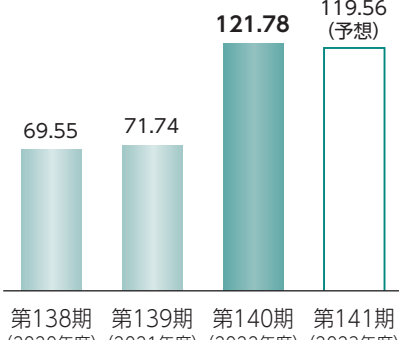
前期比 70.2%増 ↑



第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度) 第141期 (2023年度)

1株当たり当期純利益 (円)

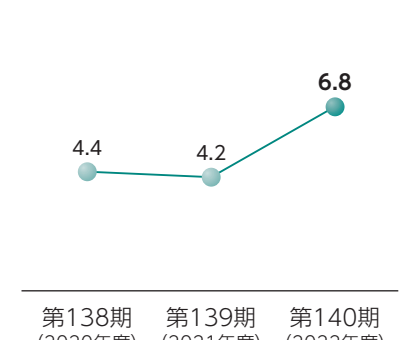
121.78円



第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度) 第141期 (2023年度)

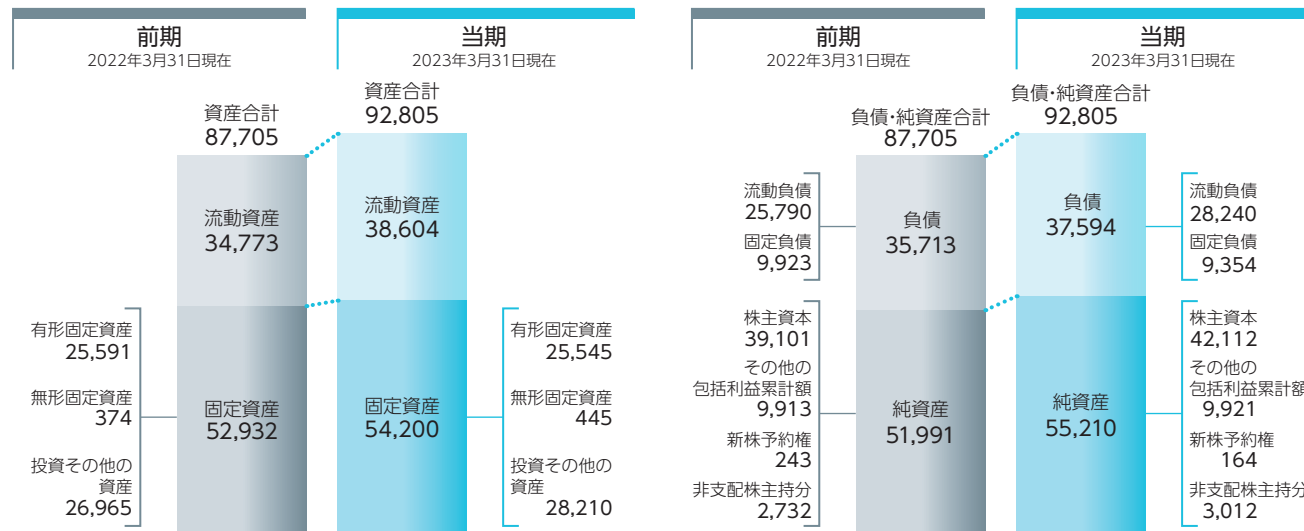
ROE(自己資本利益率) (%)

6.8%



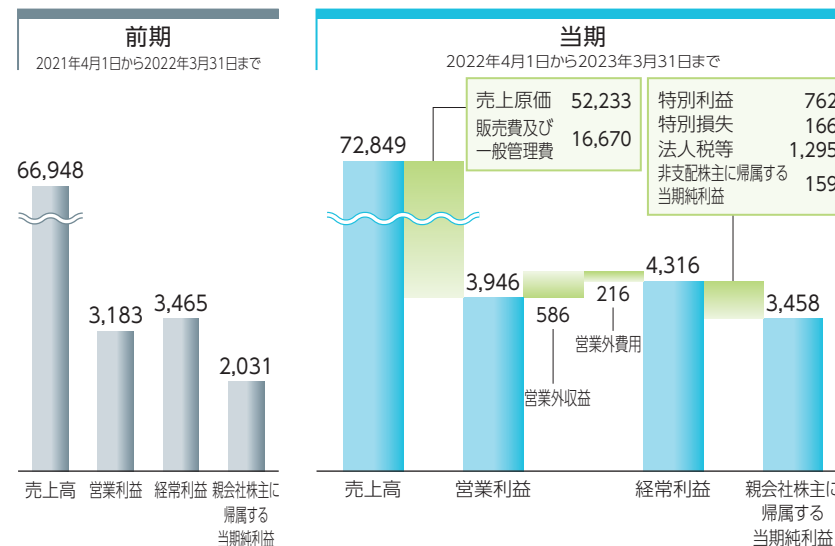
第138期 (2020年度) 第139期 (2021年度) 第140期 (2022年度)

連結貸借対照表(要旨) (百万円)

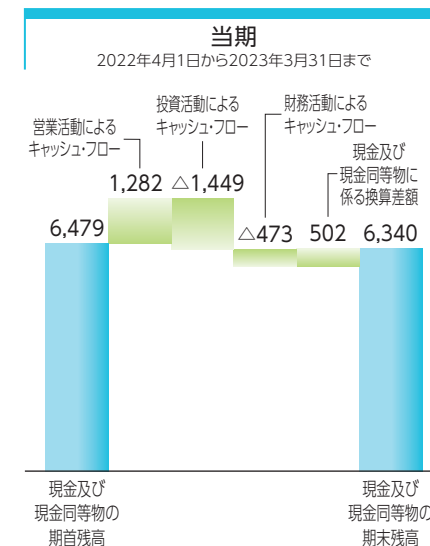


(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨) (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

発行可能株式総数 93,280,000株
 発行済株式の総数 29,710,678株
 株主数 17,855名

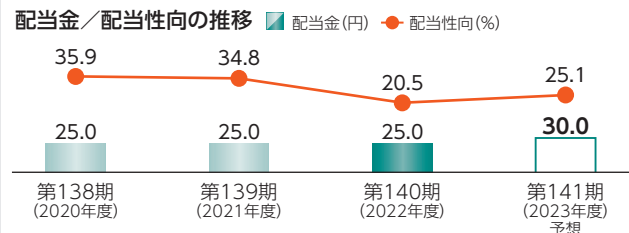
● 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,812	9.8
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
D N T 取引関係持株会	1,381	4.8
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
ダイニッカ株式会社	1,215	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	1,013	3.5
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
田邊康秀	829	2.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	718	2.5

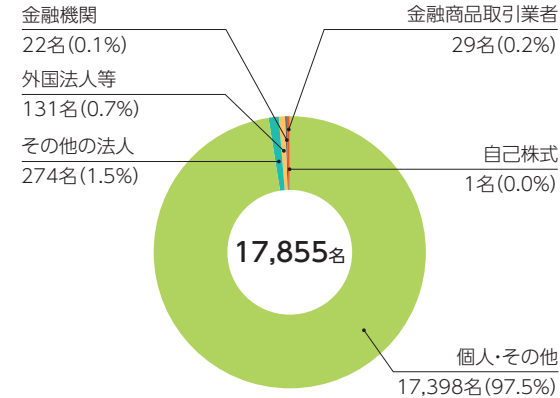
(注1) 自己株式(1,273,139株)を除いて記載しております。
 (注2) 持株比率は自己株式(1,273,139株)を控除して計算しております。

● 株主様への還元方針 ●

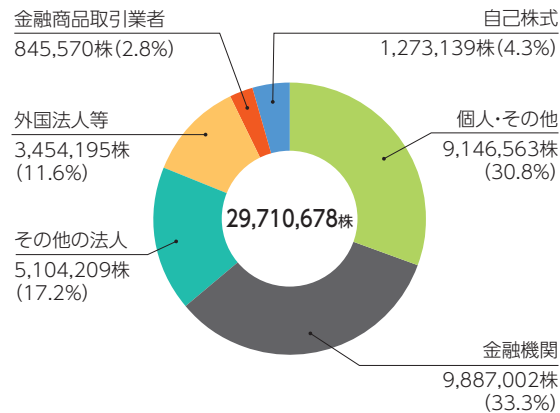
当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つとして位置付けており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。



● 所有者別株主分布状況



● 所有者別株式分布状況



● 主な事業所/子会社及び関連会社 (2023年6月29日現在)

● 大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)
 東京、名古屋、大阪 他15営業所・出張所

● 子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)
 日東三和塗料(株)(滋賀)
 サンデーペイント(株)(大阪)
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)
 (株)宇部塗料商会(山口)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)
 秋田DNライティング(株)(秋田)

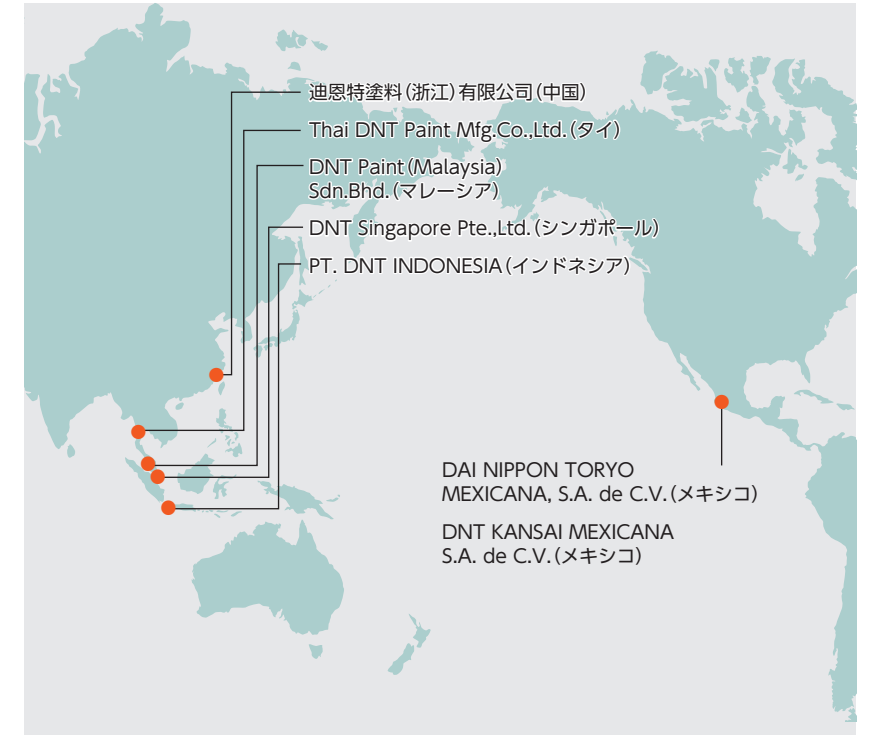
蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)
 ニットサービス(株)(大阪)

海外塗料:



● 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
従業員数	2,193名(単体:685名)
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

● 役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長	里 隆 幸	取締役(社外取締役)	林 紀美代
取締役常務執行役員	永 野 達 彦	取締役(社外取締役)	佐 藤 弘 志
取締役	野 田 秀 吉	取締役(社外取締役)	馬 場 浩 司
取締役執行役員	山 本 基 弘	常勤監査役(社外監査役)	杉 浦 秀 樹
取締役執行役員	中 谷 昌 幸	常勤監査役	木 村 直 之
取締役執行役員	三 宅 章 弘	監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之